

NTTデータグループ AIガバナンスに関する取り組みについて

2020年1月15日
株式会社NTTデータ 取締役常務執行役員 技術革新統括本部長
木谷 強

AI指針策定にあたっての背景

[背景]

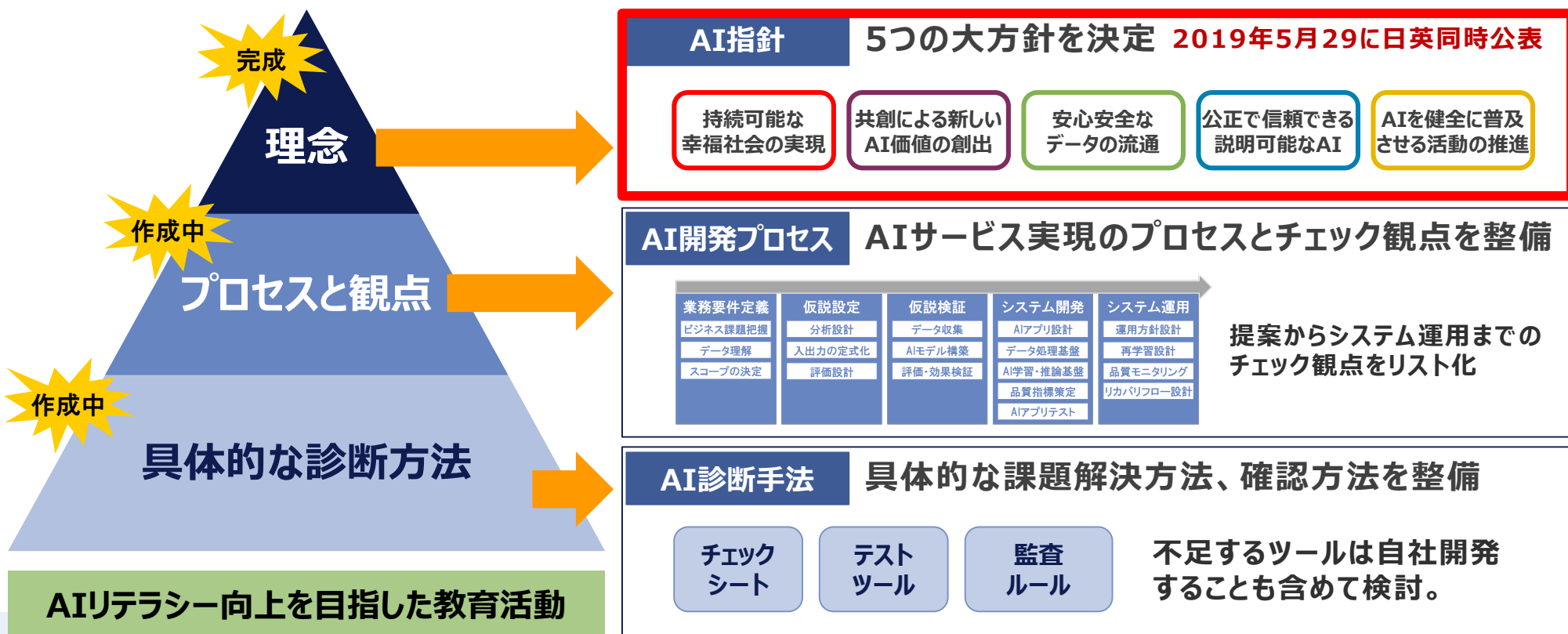
- 2016年9月の**Partnership on AI**等の発足で、AIが人類と社会にもたらす短期的、長期的な利益とリスクに対して認識を高めようとする動きが世界的に広まった。
- **総務省「AIネットワーク社会推進会議」**および内閣府「人間中心のAI社会原則検討会議」に、当社の岩本相談役と木谷が参画し、政府AI指針策定に加わった。
- 2019年6月、**G20デジタル経済大臣会合**において、AIの開発や利活用の促進に向け、G20ではじめて「人間中心」の考えを踏まえたAI原則に合意した。
- 2019年になって、**富士通、NEC**等の日本企業もAI指針の公表を始めた。

[当社]

- 当社もグローバルにAIを広く展開するIT Service Providerとして、AI指針の提示が責務と考え、**2019年5月に当社の指針を発表した。**

NTTデータグループ AIガバナンスに向けた取り組み

NTTデータグループは2019年5月29日にAI指針を世界同時公表。
2020年度にAI開発プロセスとAI診断方法の第一版を作成する予定。



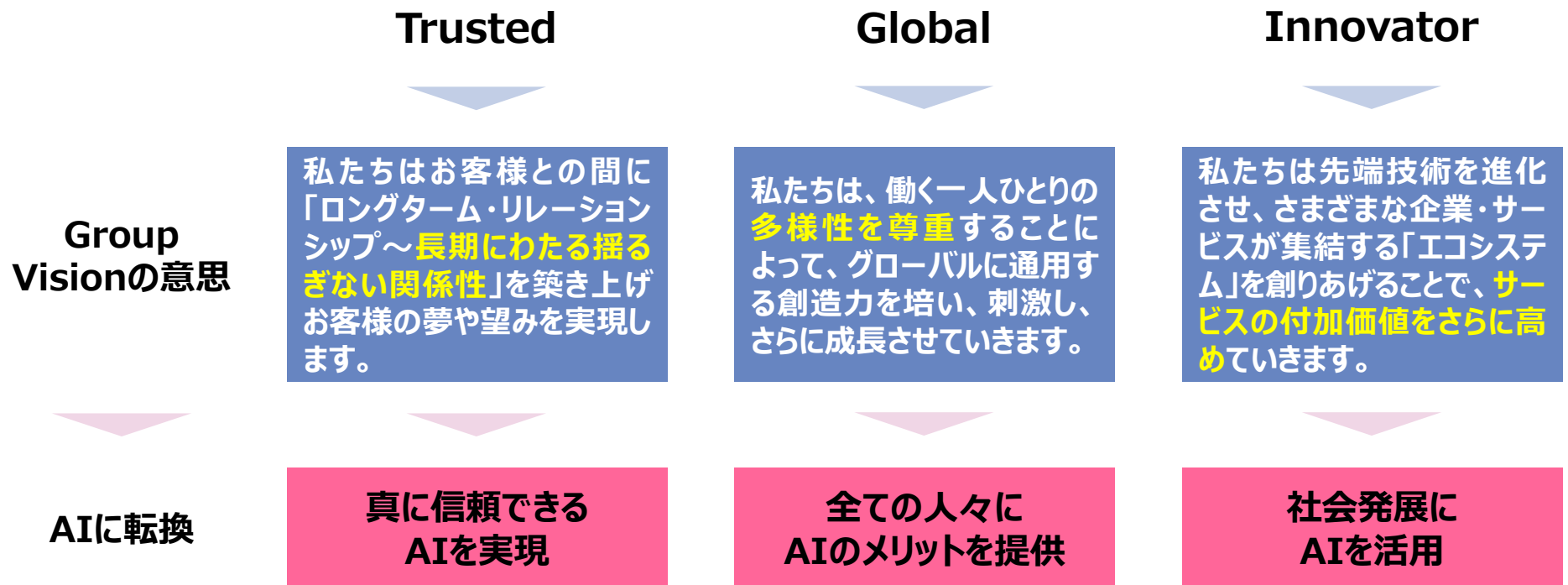
AI指針の作成方針・公表方針



- 日英同時公開を目指し、海外グループ会社にもヒアリングを実施
- 最終的には取締役会で承認を取得
- 社会の変化や技術の進展に合わせてAI指針をブラッシュアップしていく

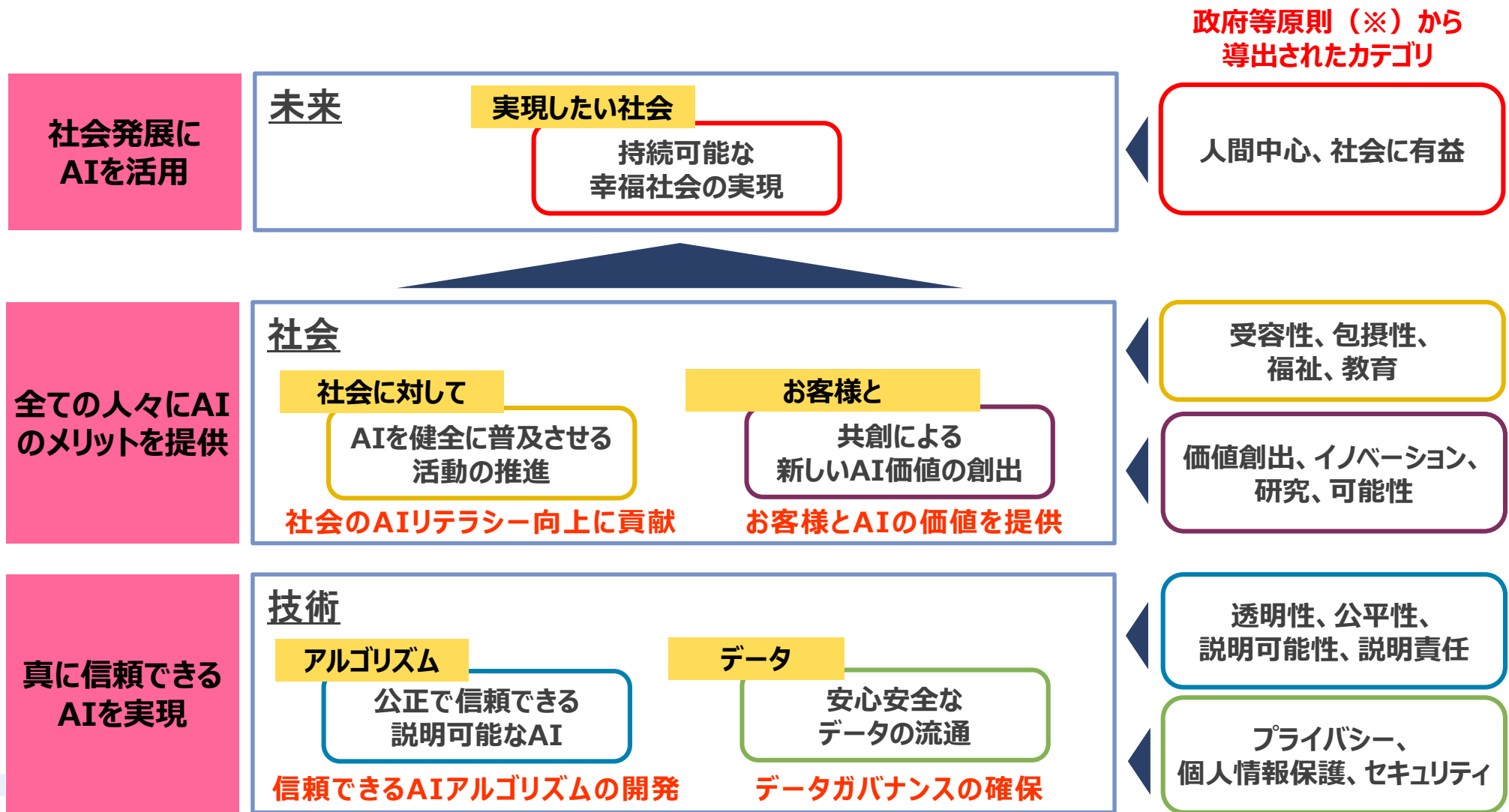
Group Visionを起点にした指針

NTTデータグループの10年後に目指す姿であるGroup Vision「Trusted Global Innovator」に込められた意思をAIに転換し、コアメッセージを策定



参考 : <http://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2018/051000.html>

NTTデータ AI指針全体像



（※）内閣府、総務省、G7、経団連等（参考資料 参照）

持続可能な 幸福社会の実現

NTTデータは、社会の持続可能性と人間社会の幸福を重要視します。AIによる社会課題の解決を推進するとともに、多様性を認め、基本的人権に配慮し、AI適用を行います。人間とAIを敵対させるのではなく、人間の生活を支え、行動範囲を拡張する技術としてAIを活用します。

共創による 新しいAI価値の創出

NTTデータは、AIの研究、開発、運用、利活用等に関わる開発者、提供者、利用者、受益者等のステークホルダーと対話・共創を行い、お客さまとのロングターム・リレーションシップを築くことでAIの可能性を引き出し、イノベーションを促進させます。

公正で信頼できる 説明可能なAI

NTTデータは、公正で信頼感のあるAIの実現に向けて、不当な差別を起こさないように配慮し、AIの判断根拠を人間が理解できる形で提示することに努めます。AIの利用に対する懸念をできる限り最小化し、適正なAIサービスが継続的に提供されるように努力します。

安心安全な データの流通

NTTデータは、AIサービスを提供する際にプライバシーとセキュリティに配慮します。個人情報適切に取得、利用、提供できる仕組み作り、データ・トレーサビリティの確保、不正アクセスの防止に努めることでデータの悪用を防ぎ、お客さまやユーザに安心安全を届けます。

AIを健全に普及させる 活動の推進

NTTデータは、社会へのAI浸透を加速させるため、AIに対する社会の理解を高める活動を推進します。ユーザのAIリテラシー向上やユニバーサルデザインに配慮したサービス設計により、健全で調和の取れたAIの普及に貢献し、社会の発展に寄与します。

NTT DATA AI Center of Excellence (AI CoE)

- NTTデータでは中期経営計画にてDigital Competency CoE拡充を宣言。
- AIビジネスをさらに加速するため、2019年5月にAI CoEを発足。7カ国8社のAIネットワークを構築。現在のコアメンバは140人。



参考資料

ニュースリリース:NTTデータグループのAI指針を策定

株式会社NTTデータは、人間とAI(人工知能)が共生する「より豊かで調和のとれた社会(以下:AI社会)」の実現に貢献するため、NTTデータグループ(以下:NTTデータ)の取り組み姿勢をまとめた「NTTデータグループAI指針」を策定しました。NTTデータは、本指針に基づき、AIの研究、開発、運用、利活用等を推進していきます。

背景

AI技術の急速な発展が社会を変えようとしています。AIによる労働力不足の解消や社会の利便性向上が期待される一方、AIには社会的差別の拡大等に代表される負の懸念があります。

NTTデータは、AIが持つ負の側面を少しでも解消すべく行動するとともに、持続可能で多様性、包摂性、透明性の高い人間中心の社会を実現するためにAIを活用していきます。NTTデータは、AIを単なる効率性確保の手段として利用せず、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に沿い、お客様を含めたすべての個人、ビジネス、社会がAIのメリットを享受できる「人間とAIが共生する社会」を目指していきます。

このような決意を全世界のNTTデータのメンバーと共有し、当社の企業理念である『情報技術で、新しい「しくみ」や「価値」を創造し、より豊かで調和のとれた社会の実現に貢献する』を実行するために、AI指針を策定しました。

概要

NTTデータグループのAI指針は、NTTデータがAI社会の実現に向けて様々な技術開発、およびサービス提供を実施する際に参考とされるガイドとなります。

当社のAI指針には『AIは基本的な人権を侵してはならず、人間社会の幸福を実現するために存在するべきである』というメッセージが込められています。これらを実現するためには、「個人データの取り扱い」や「AIの説明可能性」について真剣に向き合う必要があります。また、ステークホルダーとの共創をとおして社会に新しい価値を提供していく必要があります。素晴らしい技術が存在しても、社会がそれを認めなければ普及には至りません。AIを広く社会に浸透させるには、AI人材の育成やユーザのAIリテラシー向上に積極的に取り組み、社会的受容性を向上させる必要があります。このような考えを取りまとめ、当社は5つの項目からなるAI指針を作成しました。

(続く)

当社のAI指針には、NTTデータが目指しているGroup Visionが反映されています。Group Visionの中で宣言されている「Trusted Global Innovator」というキーワードには「長期にわたる揺るぎない関係性から醸成される信頼」「グローバルレベルでの多様性の尊重」「先端テクノロジーを活用したビジネスイノベーション」という意味が込められています。これらはAI指針の中で「ロングターム・リレーションシップ」「多様性を認めあう/基本的人権への配慮」「新しいAI価値創出」という形で反映されています。

NTTデータはAI指針に則り、AIを社会課題解決に活用し、デジタル・イノベーションを促進することにより、健全で調和の取れたAI社会の発展にグローバルで貢献できるよう取り組みを進めます。当社は中期経営計画で掲げるグローバルデジタルオフリングの拡充、世界の動向を分析・発信するNTT DATA Technology ForesightやAI技術の普及展開を支援するAI CoE活動をとおして、AIの可能性を追求します。また、説明可能性に代表されるAI技術を向上させるため、研究開発を積極的に推進していきます。